

会 議 録

| | |
|---------|--|
| 会議の名称 | 令和6年度 第1回 男女共同参画推進計画策定検討部会 |
| 日 時 | 令和6年7月23日(火) 開会 午前10時 ・ 閉会 午前11時20分 |
| 場 所 | 池田市役所7階 第7会議室 |
| 出 席 者 | 《計画策定検討部会委員》 有澤委員、山本委員、藤田委員、西村委員 <事務局> 吉川主幹、瀬川主事 |
| 部 会 長 | 有澤委員 |
| 議 題 | 1. 開会 2. 部会長選出 3. 事務局より本検討部会の進め方等の説明 4. 業者より骨子案等の説明 5. 意見交換 6. 閉会 |
| 配 布 資 料 | ①骨子案(A3版) ②骨子案(冊子版) |
| 傍 聴 者 | なし |
| 問 合 せ 先 | 池田市 市民活動部 人権・文化国際課 072-752-1111 内線259 072-754-6231(ダイヤルイン) mail:j-bunka@city.ikeda.osaka.jp |

議 事 経 過

1. 開会

2. 事務局より本検討部会の進め方等の説明

3. 部会長の選出

一部会長として有澤会長を選出

4. 骨子案等の説明

—業者説明—

5. 意見交換

(委員)

大変よくまとまっています。第2次計画では4つの柱の横に優先課題等が図示されていました。(次の計画も) こういう感じにするのでしょうか。

(業者)

今回の骨子案では施策体系図を表にまとめていますが、第2次計画の形式が見やすいということであれば、そのようにすることは可能です。

(委員)

私は第2次計画の形式がインプットされています。施策体系図は計画書の最初のほうに載せてもよさそうです。最後のほうに載せている計画が多いですが、みんなが計画書を全部読み込むわけじゃないので、最初に載せることも検討してください。

用語説明は第2次計画と基本的に同じですが、新しく出てきた言葉として「アンコンシャスバイアス」、「プレコンセプションケア」を入れるとよいのではないのでしょうか。

(事務局)

「プレコンセプションケア」について、事業の方向として男女の健康づくりは計画に入れる必要はありますが、文章には直接的には入れない方向で考えています。用語説明には加えます。

(委員)

「基本課題Ⅰ 男女共同参画社会実現のための基盤整備」「★ アンコンシャスバイアスの解消、プレコンセプションケアの推進」の下に説明があるとよいのではないのでしょうか。

(委員)

用語説明は、できれば同じページに記載されるといいかもしれませんね。

(委員)

「アンコンシャスバイアス」について学校関係で調べてると「無意識の思い込み」ということで結構載っています。用語説明は載せるといいと思います。

(事務局)

用語説明は関連する基本課題のページに載せつつ、用語集にも載せる形式でしょうか。

(委員)

私は2回説明があってもいいと思います。

ー委員より文言修正の指摘ー

- ・「役割分業意識」と「役割分担意識」が混在している。意識的に分けているのであればいいが、特になければ「分担」で統一して欲しい。

(事務局)

計画策定の趣旨には性別役割分担意識の解消が課題と書かれていますが、アンケートから見る現状と課題には、分担意識は解消されつつあると書いてあります。

(委員)

以前より改善しているが課題としてはまだ残っているということだと思います。

「池田市男女共同推進計画～いけだパートナーシップ21～」という計画名について、池田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度（以下、宣誓制度）ができたため、変えるかどうか事務局から問題提起がありました。いかがいたしましょうか。

(事務局)

計画策定当時から「池田パートナーシップ21」という副題でしたが、性的マイノリティに対する施策を別で行っており、（本計画と宣誓制度の）名前が紛らわしくなると思い、副題を取るか変えるか問題提起をいたしました。

(委員)

パートナーシップ21（池田市男女共同参画推進計画）は市としてパートナーシップをどうしていくかという計画ですが、宣誓制度というと逆に何だろうと思いますので、これは絶対に残すべきではないでしょうか。

基本課題Ⅳの「安心して暮らせる社会の実現」は、「安心安全」の1セットで、「安心し

て安全に生活できる」のような表現はいかがでしょうか。特にDVの場合に安全はすごく大事ですし、防災においても必要です。計画策定の趣旨の文中に、「非常時に誰もが安全に安心して生活できる」という記載がありますね。

「少子高齢化」の「化」はいらないと思います。エイジングソサエティは高齢化率7～14%を指しますが、もう26%で-ing形ではないので「化」は抜いてよいと思います。私がエイジングソサエティについて修士論文を書いた時は、日本の高齢化率は7%を超えたところでした。その時は「高齢社会」が来るとは思っていませんでした。

(委員)

同感です。「少子高齢社会」でいいと思います。

計画名称ですが、門真市で第3次男女共同参画計画を作る時に、担当者から男女共同参画という言葉を使わずにできないか相談されました。パートナーシップという言い方をしている所は結構多いです。「男女共同参画計画」を主題にするケースもあれば、副題にしているケースもあります。例えば、鳴門市の場合は副題を「鳴門パートナーシッププラン」としています。

(会長)

男女共同参画基本法が定めているので、「男女共同参画計画」でもよいと思います。

(委員)

八尾市は「はつらつプラン」という名称で、少しイメージしにくいです。

(委員)

慣れ親しんだ言葉で、ということがあるのでしょうかね。

(委員)

アンケート調査結果から見える現状と課題について、そのままアンケートの結果を掲載されていると思いますが、「てにをは」や段落、体言止め等の表記を修正したほうがよいと思います。

ー委員より文言修正の指摘（下線部）ー

- ・ 「池田市男女共同参画条例、池田市男女共同参画計画を「はじめて聞いた」人が約7割」
- ・ 「様々な男女平等・人権に関する用語について～啓発に取り組むことが必要です。」
- ・ 「相談体制の整備、被害者支援等の取組を行うとともに、相談先の周知も行うことが必要です。」
- ・ 各段落の文頭を一字下げで欲しい。

(委員)

男女の防災力アップへの支援に書かれている、「パンフレット「女性の視点からの防災対策について考えよう」」は、今ホームページから手に入りません。

(事務局)

事務局でもそのパンフレットを探していますが、見つけられていません。最近の防災の男女共同参画のパンフレットはありますが、ここに記載しているものはわからない状況です。

(委員)

検索すると、内閣府で名前は出てきますが、池田市のホームページ上では見つからないので、どう記載するか考える必要があります。

ー委員より文言修正の指摘ー

- ・「かかわらず」「関わらず」の表記は、ひらがなで統一するとよい。
- ・女性活躍推進法について、「職場における女性の活躍を推進することを雇用主である事業所（従業員 300 人以下は努力義務）に義務づけた法律」と記載されているが、「（従業員 300 人以下は努力義務）」は「義務づけた」の後か、「法律」の後に記載するのがよい。

(委員)

困難女性支援法に基づく困難女性の自立に向けた支援は、新たに検討されますか。

(事務局)

そうです。基本課題Ⅳに困難女性の自立に向けた支援を追加し、それに付随する市の事業を当てはめます。今回は骨子案であり、まだ反映していません。

(委員)

性的少数者の説明文中に「性的マイノリティとは」と書かれていますが、「人それぞれに異なるものであり、性的少数者とは」になるのではないのでしょうか。他の所では「性的少数者」と書かれています。

(会長)

「性的マイノリティ」をあまり強調すると、男女共同参画計画ではなくなってしまうのではないのでしょうか。

(事務局)

用語説明から性的マイノリティに関するものは抜いています。条例も異なりますし、性的少数者に関することや宣誓制度は男女共同参画参画条例に基づいておらず、人権を大切にするまちづくり条例に基づいています。本計画でも割愛しようと思っています。

用語説明に配偶者暴力防止法やDV法の説明がありますが、保護命令制度の説明も必要です。

(委員)

ー委員より文言修正の指摘（下線部）ー

・「本市が持続可能な発展の道を確保するためには、画一化、均質化～必要があります」

(会長)

ジェンダーの説明として、「生まれる前に決定される」や「生物学的性差」と「出生後」の表現は不要であり、社会的文化的性差であることが分かればよいと思います。

(委員)

施策の担当課を書いてもいいのではないのでしょうか。ジェンダーギャップ解消について移住のことが書かれていますが、兵庫県豊岡市は色々取り組んでおり、地元の企業とこういうことを一緒に変えていくんだと非常に具体的な内容が明示されていたので、そういう書き方もいいと思います。

(会長)

市の部課がどういう仕事をしているかは記載が必要です。

(委員)

部と課、どちらも書かれていますね。

(事務局)

例えば健康フェスタのイベントをすると部も課も全部またがっていることがあります。課を全部書くと数が多く、また、組織再編が多く、1、2年で課の名称が変わったりするので調整が必要です。

(委員)

推進状況報告書（に担当課が詳しく書かれていれば）でいいと思います。

(事務局)

部の名前だけではピンと来ませんし、担当課まで書くほうがよいですが、10年間の計画であり書かないほうがよいとも思います。事業の内容や担当課によって決めていきます。

(委員)

「教育委員会」でまとめられているものもありますね。学校教育推進課や教育政策課など機構改革で毎年変わりますので、それでよいと思います。

(事務局)

藤田委員より計画書の最初に体系図を載せるご提案がありましたが、扉ページにあるとわかりやすいでしょうか。第2章の計画の考え方に明示するほうがわかりやすいですか。視覚的に入れ、次に細かい説明があるほうがわかりやすいでしょうか。

(委員)

そのほうがよいと思います。私は長く環境の計画に携わりましたが、計画書の見開きに考え方を一覧で示したり、木の絵から枝葉にかけて体系を示すなど、ビジュアル的に見せました。計画書の最初にあると目で見てわかるし、それを具体的に次のページから見ていくという感じがわかりやすいです。普通は計画の最後にまとめますが、最後まで読む人はなかなかいません。

(事務局)

総合計画も「めざす姿」を最初に示しますね。概要版がそうになっていますね。概要版はカラーです。

(委員)

仮に出来上がったものを見てみてもいいのかもしれませんが。検討をお願いします。

(事務局)

「めざす姿」のキャッチコピーと図を一緒に載せられるとよいと思います。

(委員)

意外とこの分野の計画はキャッチコピーが使われておらず、難しいかもしれませんね。過去は市民公募もありました。

(事務局)

体系図は4つの柱の提案で問題ないでしょうか。

(委員)

問題ありません。

(事務局)

新たな計画の目標値について悩んでいます。達成できたところ(◎)を再掲するかどうかということです。「×」は新たに設定しなければいけません。例えば「育児参加休暇」を「育児休業」に変えないといけないとか、前回の審議会で取得日数や時間も大事だのご意見がありましたので、そういう指標についてご存知ありませんか。内閣府の目標に合わせているものが多く、結局取得率等になると思いますが、独自の取得日数や実用的な目標値があれば伺いたいです。取得日数の集計はとれますが、目標にするのは難しそうです。

私は育児休暇を3ヶ月とりましたが、1週間だけの人も多いです。10年位前に池田市で最初に育休を取った男性は1週間位でした。独自の取得日数を設定するのか、国に合わせた指標にするのか悩んでいます。また、父親向けの子育て支援事業など、事業の参加者数を目標値にすることが多いですが、会場のキャパシティによって参加者数は変わるので、開催回数や参加率のほうがよいのか、適宜調整して変更してよいでしょうか。

(委員)

人数だけをみると減っているのでも、達成できていないように見えてしまいます。単に達成できてないから「×」とせず、会場のキャパシティや、男女がそれぞれ参加しやすい時間等もう少し細かな指標はないでしょうか。

(事務局)

文化会館のような最大240人が入る会場もあれば、年によっては少人数で体験型のワークショップもあります。父親向けの事業や料理教室は、それによって減っている事情はあります。

(会長)

講演型とワークショップ型と分類して、それぞれで人数を出してはどうでしょうか。これだとすごく減っているように見えます。

(業者)

平成28年度に比べて減っているのは、コロナの拡大防止として参加者数を制限したなどの影響はないのでしょうか。

(事務局)

実施回数は減っています。

(委員)

参加を見合わせていた人もいたと思いますし、コロナの影響はありそうです。令和5年度はみんながまだ少し参加を迷っていた時期ではないでしょうか。

(業者)

今回の目標の達成度の表に、その旨の説明を付けるとよいと思います。

(事務局)

父親向けの事業は、以前はセミナー形式でしたが、最近は、パパカフェなど小規模で集中的に実施するようになってきています。量は表しやすいですが、質を比べるのがなかなか難しいです。

(委員)

昔は量の指標でしたが質をとれる指標が大事ですね。難しいですね。

ー委員より文言修正の指摘ー

- ・「国内の人口構成をみると」は「～みますと」に修正して欲しい。
- ・「本市においては～多様な施策を進めてきました」は「～まいりました」に修正して欲しい。
- ・「目標の達成状況をみると」は「～みますと」に修正して欲しい。

(事務局)

全体的に、表記ゆれのチェックをお願いします。

(事務局)

次回の審議会で素案を検討しますが、事前に検討部会で素案を見ていただきます。大きな方向性としては骨子案通りでよいでしょうか。

ー承認ー

(委員)

最近は今まで一番遅かった法律のほうが先に変わってきており、驚いています。男女の共同の観点とは少し違いますが、(性別変更の要件として)手術をしなくてもよいということなどです。

(事務局)

その他のご意見ございますか。計画タイトルは踏襲でよいでしょうか。

—承認—

(会長)

年表はかなり詳しいですが、途上国のこと等、ここまで書かなくてもよいと思います。

(事務局)

世界、国、大阪府と比べて池田市の大きな動きが2018年からなく、セミナーを実施した程度です。逆にこれを無くしてしまうとよくないと思います。

(会長)

池田市のことももう少し掲載したいですね。

(事務局)

前は講演会の開催状況と推進状況報告書は毎年発行しているので、その形となっています。

(委員)

池田市のことも細かく毎年の事業を記載すればいいと思います。

(委員)

セミナーの開催なども記載したらいいと思います。パパカフェが近年増えてきているのも事実なので、それも掲載して欲しいです。ダイバーシティセンターの開設も入れましょう。

6. 閉会

(事務局)

次回の検討部会は、ご意見を調整し素案をまとめ、9月頃に開催いたします。また日程調整させていただきます。その後審議会で検討した内容を審議いただきます。審議会は10月末～11月の予定です。本日はありがとうございました。

—閉会—